

NITO プラスチックエンクローズブレーカ (屋内用 PEB) 施工説明書

このたびは、弊社製品をご採用くださいますこと誠にありがとうございます。施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。又、施工後は施主様に商品説明を行ってください。尚、保守・点検の際も活用しますので、施工説明書・取扱説明書は、所定欄に施工業者名を記入の上、まとめて施主様にお渡しください。

・有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。

⚠ 危険

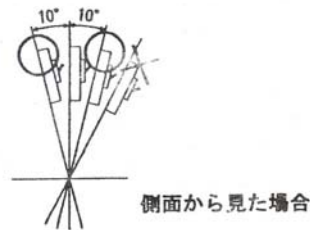
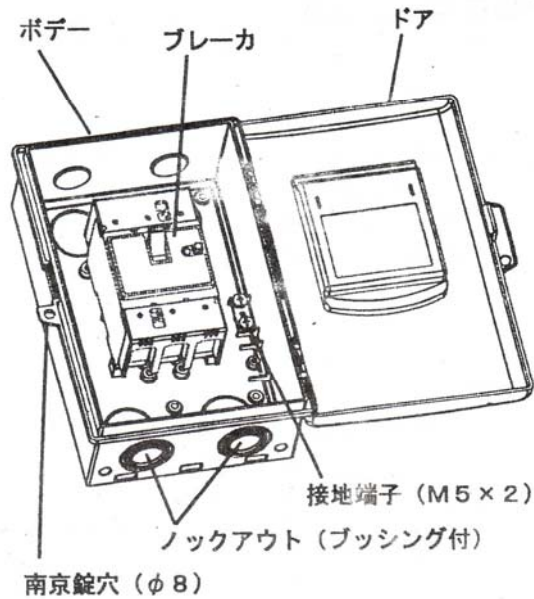
- ・配線作業は、上位遮断器を「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電の恐れがあります。
- ・（漏電遮断器）2ヶ所の裸充電部に絶対に触らないようにしてください。感電時に動作しません。
- ・端子ねじは適正締付けトルクにて確実に締付けてください。火災の原因となります。

⚠ 注意

- ・ブレーカに電線を接続する場合は、各相を正しく接続してください。

■施工上の注意

- ・相線式・回路電圧に合わせて選んでください。
2Pブレーカ搭載：1φ2W 100V 200V
3Pブレーカ搭載：1φ3W 100/200V 3φ3W 200V
1φ3Wに使用する場合は中性線欠相保護機能はありません。
- ・接地2Pコンセント付：1φ2W 100V
接地3Pコンセント付：3φ3W 200V
- ・モータ回路にご使用の場合は、モータの全負荷電流（定格電流）に適合したブレーカを選定してください。
- ・電線の接続ねじは、下記の適正締付けトルク範囲内で確実に締付けてください。
M5:1.6~2.0、M6:3.0~4.0、M8:5.5~7.0 (N・m)
- ・漏電遮断器搭載機種について
電線は、電源側・負荷側の指示通りに接続してください。施工後は、電源側及び負荷側端子間の電圧確認とテストボタンによる動作の確認をしてください。
線間の絶縁抵抗測定は漏電遮断器が故障しますので、電線を外して電線で行ってください。
- ・高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な環境での使用は避けてください。機能を損ないません。
使用周囲温度：-5~40℃（24時間の平均値35℃以下）
相対湿度：45~80%（内部結露がないこと）
特に、工作油・シンナーが付着するような場所では使用しないでください。
- ・ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物及び雨水等が内部に入らないように施工してください。
- ・凹凸のある場所へ無理に取付けしないでください。
- ・取付けは鉛直面に対して±10°以内に取付けてください。
- ・製品の左右にはドアの開閉ができる程度にすきまをあけてください。
- ・ロックアウトを抜いた後はバリを処理してください。





コンセント (アメリカン電機製)	適合プラグ
引掛形接地2P15A 3110-P	3112N
引掛形接地3P20A 4220-P	4222N
引掛形接地3P30A 4320-P-L15	4322N-L15


NTO プラスチックエンクローズブレーカ (屋内用 PEB) 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。 (保管用)
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全のための注意事項

施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報として注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

 危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重症を受ける可能性が想定される場合。
 注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の障害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、 **注意** に記載した事故でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■使用上の注意

危険

- ・端子部に触れないでください。感電の恐れがあります。
- ・(漏電遮断器) 2ヶ所の裸充電部に絶対に触らないようにしてください。感電時に動作しません。
- ・異常(発熱、臭い、煙など)がありましたら直ちにブレーカを「切」にして、電気工事業者へ連絡してください。

注意

- ・自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを「ON」にしてください。火災の恐れがあります。
- ・保守・点検は、専門知識を有する人が上位遮断器を「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電の恐れがあります。
- ・漏電遮断器は月に1回程度テストボタンを押して動作確認を行ってください。漏電遮断器が「OFF」にならない場合は故障です。電気工事店へ連絡してください。

- ・有資格者以外の電気工事は法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- ・安全にご使用いただくため、定期点検を電気工事業者へ依頼されることをお奨めします。
- ・高温・多湿・じんあい・腐食性ガス・振動・衝撃など異常な環境で使用しないでください。
(特に、工作油・シンナーが付着するような場所では使用しないでください。)
- ・キャビネット表面の汚れは、乾いた布または中性洗剤を軽く布に湿らせて拭き取ってください。薬品やアルカリ系・酸性系などの洗剤は使用しないでください。
- ・カバーは確実に閉じてください。

施工業者名

TEL

施工年月日

年

月

日

仕様等、お断りなしに変更する場合がありますのでご了承ください。また、ご不明な点がございましたら弊社技術相談室にお問い合わせください。

日東工業株式会社

技術相談室/愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地

C903390

TEL (0561) 64-0152 <再生紙を使用しています>